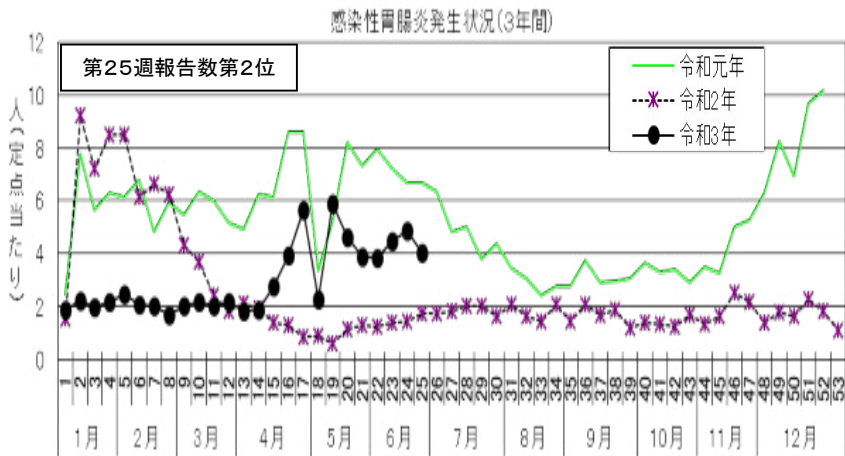
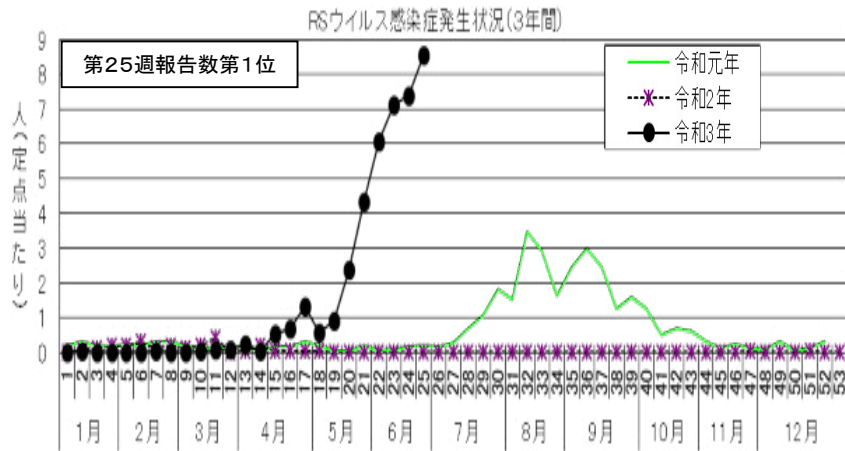


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年6月21日（月）～令和3年6月27日（日）〔令和3年第25週〕の感染症発生状況

第25週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) RSウイルス感染症 2) 感染性胃腸炎 3) 突発性発しんでした。RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は8.54人と前週（7.38人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.05人と前週（4.86人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.43人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



新型コロナウイルス感染症～リバウンドに御注意を！～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和3年5月中旬以降は減少傾向でしたが、第25週（6月21日～6月27日）は343件と再び増加に転じました。

直近の3か月と第3波に相当する令和2年11月～令和3年1月の3か月を比較すると、60歳代以上が23.3%から12.8%となり、高齢者の割合は減少しました。これに対し、20～50歳代の割合は66.4%から75.2%と増加しており、特に20歳代の男性の報告数が最も多くなっています。

感染のリバウンドを回避するためにも、若い世代の感染拡大防止は非常に重要となります。今一度、行動を見直し、感染対策を心がけましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の年齢階級別性別発生状況の時期による比較

令和2年第45週～令和3年第4週 令和3年第13週～令和3年第25週

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第25週)

